

庁議の概要

開催日：H19.4.16

項目

- 1 新たなプロジェクトチームについて【総務部】
- 2 森林環境税の延長に向けた取組みについて【森林部】
- 3 会計事務総合支援本部の立ち上げについて【会計管理局】

内容

- 1 新たなプロジェクトチームについて【総務部】
総務部から、新たなプロジェクトチームについて概要説明があった後、意見交換を行った。

【説明概要】

- ・ 現在のP T（プロジェクトチーム）はあまり活発に活用されていない。P Tを積極的に活用することにより、短期間で課題を解決してほしい。従来と違う点は、4月から部局をまたがるものは部局連携官にも関与していただき、成果を出す方向で仕事をしていきたい。
- ・ 複数年に渡るものはP Tでなく、別の組織を検討する。
- ・ P Tを設置する場合には、それぞれで設置要綱をつくっていただき、決裁時に計画書を添付していただく。

【主な意見】

- ・ 今のP Tはどうなるのか。
原則一旦廃止し、新たにつくってもらう。現在のP Tで、新たなP Tにそぐわないものがあつたら名前を変えるよう再整理していただきたい。
- ・ 設置時の事前協議はどこに必要なか。
部局連携官と行政管理課である。
- ・ 現在のP Tだと権限がそれぞれの部局にあり、うまく動けていないこともある。それを短期間で動かうとの考えだと思うが、やる、やらないの判断など、どれくらいの権限をP Tに与えるのか。
やれという権限までは考えていない。
- ・ どこまでの権限を持たすかはP Tの仕事設定時に決めればよい。P Tで決めたことはやれといった場合と、意見を出す場合と最初から意識すれば2種類あってもいいのでは。肝心なのは、これまで権限があいまいであったので、そこをいかに明確にするかである。（知事）
- ・ これまでのP Tは成果が見えづらかった。新しいP Tはここで決めたから最後までやるというのか、P Tで方針を決めたので後はそれぞれが方針に沿ってやってくださいなのか、権限のイメージがしづらい。
- ・ できる、できないと決めるまでがP Tの仕事。そうでなければ、関係する部局が議論して決めればよい。（知事）
- ・ 部局長の心構えが大事。納得するまで検討しなければ。（副知事）
- ・ 庁議の場で、P Tにどれだけ権限を持たし、どういったメンバー構成で、到達目標や成果を議論しないと。権限、部局の関与を認識したうえでP Tを発足させるようにすれば分かりやすい。
- ・ P Tが関係団体の集まりとなると、単なる調整機関になってしまう。権限、予算を渡すのなら、直接仕事に関わっていない人が、仕事に関わっている人と調整しながらP Tとして判断し、関係部局長の合意

を得て進めるイメージではないか。

- ・ そういったイメージでないと意味がない。(知事)

2 森林環境税の延長に向けた取組みについて【森林部】

森林部より、森林環境税の延長に向けた取組みについて概要説明があった後、意見交換を行った。

【説明概要】

- ・ 県民アンケートやシンポジウムでは来年度以降も続けるべきとの意見が大半を占めているが、一方で用途や負担のあり方など見直すところがあるのではとの声もある。
- ・ 県独自で県民に負担していただく税については、県民がどう使ってほしいか、使った結果どう変わったかといったことが目に見えなければならない。
- ・ 庁内検討チームでは、庁内でどう使うのかではなく、県民等からいただいた意見がなぜそうなのか、その意見が実情を反映していれば実現するのにどうすればいいのか、そういった視点で検討していただきたい。
- ・ 庁内検討チームに関わっている部局だけでなく、幅広く県民環境税の活用についての意見をいただきたい。

【主な意見】

- ・ 森林環境保全基金運営委員会との関係はどうなるのか。
部内でも調整中であるが、この税の性格から考えると県民アンケートや運営委員会の声を実現するための用途や負担のあり方、事業の組み立て等を考えてもらいたいとも考えている。
- ・ 県民が分かりやすくするにはどうすればいいか、よく総括する必要があるのでは。
森林整備だと通常の事業でやっていたことは行わないとし、水源かん養や国土・県土の保全といった目的に使うなど、最初に今までと違う財源であることにこだわりすぎた。

3 会計事務総合支援本部の立ち上げについて【会計管理局】

会計管理局より、会計事務総合支援本部の立ち上げについて概要説明があった後、意見交換を行った。

【主な意見】

- ・ 人は間違いを起こすものであり、公的な機関でチェックしていくのはいいことである。
- ・ 出先で勤務していた人が、本庁で業務を行う場合、内容の移り変わりが早くついていけない。それを側面から支援すること必要である。